



東京都立板橋有徳高等学校
Tokyo Metropolitan Itabashi-yutoku High School

有徳通信

令和4年3月18日第6号

第13回卒業証書授与式

3月5日(土)に第13回卒業証書授与式が行われました。感染症対策のため、生徒1名につき保護者1名のみ出席可能、国歌斉唱や校歌斉唱は歌唱入りのものを聞くという形で行われました。それでも、生徒たちは名前を呼ばれたときにしっかりと返事をし、立派に成長した姿を見せてくれました。231名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。これからの活躍を期待しています。

＜校長式辞＞
校長から卒業生へ、心のこもったメッセージが送られました。

今年度も素敵な卒業アルバムが完成しました。

＜卒業生退場＞
担任の先導のもと、各クラス保護者席の間を通過して、退場しました。

＜卒業証書授与＞

各クラス代表者が壇上に上がり、校長から証書を受け取りました。

＜在校生のこぼ＞
全在校生を代表して卒業生にお祝いの言葉を送りました。

＜卒業生のこぼ＞
「また逢う日まで」左手の拳を上げる場面もありました。

1年次 SDGs プレゼンシート

国際理解教育の一環として、1年次ではSDGsについて各自調べ、クラス内で発表会を行いました。その後、どの生徒のプレゼンシートが素晴らしいか、オンライン投票を行いました。各クラスのベストプレゼンシートがこちらです↓↓模造紙に貼り、廊下に掲示しました。



2年次 探究活動

2年次では、2学期～3学期に、桜美林大学と連携して、探究活動に取り組みました。オリエンテーション後、グループごとに調べ学習に励み、クラス発表で選ばれたグループが学年発表を行いました。他者と一緒に協力して、何かを調べたり発表したりするとても良い機会になりました。

9/29(水)探究活動① オリエンテーション

探究活動のガイダンスとして、桜美林大学高大接続アドバイザーの桜美林大学 今村さん、森谷さんが探究の意義、進め方を指導してくださいました。探究とは何なのか、どうやって探究していけばいいのか、少人数に分かれたグループワークを交えながら、わかりやすく説明してくれる内容でした。



10/6(水)探究活動② テーマ別動画、調べ学習

動画視聴後、各グループに分かれて調べ学習を始めました。

テーマ ①ディズニー:新ショー、パレード、フードメニュー、新しい映画などを提案しよう!

②SDGs:5歳児向けのSDGs理解プロジェクトをつくろう!

③沖縄:「平和」に関係するテーマのスタディツアーを企画しよう!

10/13(水)探究活動③ 調べ学習

前回に引き続き、調べ学習を行い、以下の手順で発表に向けて準備を進めました。

1. 調査:スマートフォン、文献、アンケート、インタビュー等を使用する。
 2. 分析:データの読み取り、自分たちなりに理解する。
 3. 提案:既存のカタチにとらわれない、自分たちが考えた企画、提案をする。
- 発表したときに予測される質問への回答も考えました。



11/10(水)探究活動④ 調べ学習、発表用シート下書き

以下の2点に注意しながら、発表用シートを作成しました。

- ・絵を描いたり、写真を貼ったりして、わかりやすく仕上げる。
- ・文章は書かず、キーワードだけにします。

本番に向けて発表練習をしました。発表時は顔を上げて、アイコンタクトをとるということを意識しました。

12/1(水)探究活動⑤ 調べ学習、発表用シート清書、発表リハーサル

本番に向けて発表練習をしました。話す順番や発表用シートの見せ方を確認しました。

12/15(水)探究活動⑥ クラス発表

各クラス、グループごとに発表しました。発表用シートを全体に見せること、とにかく顔を上げて、アイコンタクトをすることを意識しました。ファシリテーターとして、桜美林大学 今村さん、樋口さん、北尾さんが各クラスに入って、コメントをくださいました。学年発表に参加するクラス代表決定後、「ここが良かった!ここは続けたほうが良い!」「こうしたらもっと良くなると思う!こんなのはどう?」というグループへの応援アドバイスシートを各自作成して、クラス代表グループに渡しました。

1/12(水)探究活動⑦ 学年発表

各クラスの代表グループが体育館で発表しました。どのグループも工夫を凝らしたものでした。5グループの発表後、その場で各自のスマートフォンからオンライン投票を行い、表彰を行いました。最後に桜美林大学 今村さん、森谷さんからコメントをいただきました。



<生徒の感想>

- 「何かをわかりやすく、おもしろく伝える工夫をすることの難しさを知りました」
- 「一生懸命何かに挑戦することの大切さを知りました」
- 「やりきったという達成感を得られました」
- 「これからの社会で必要な力や今の世界の課題について詳しく知ることができました」
- 「みんなで協力して取り組むのがとても楽しいと思いました」

